

小浜市内水ハザードマップ

対象区域: 公共下水道区域 令和3年度版

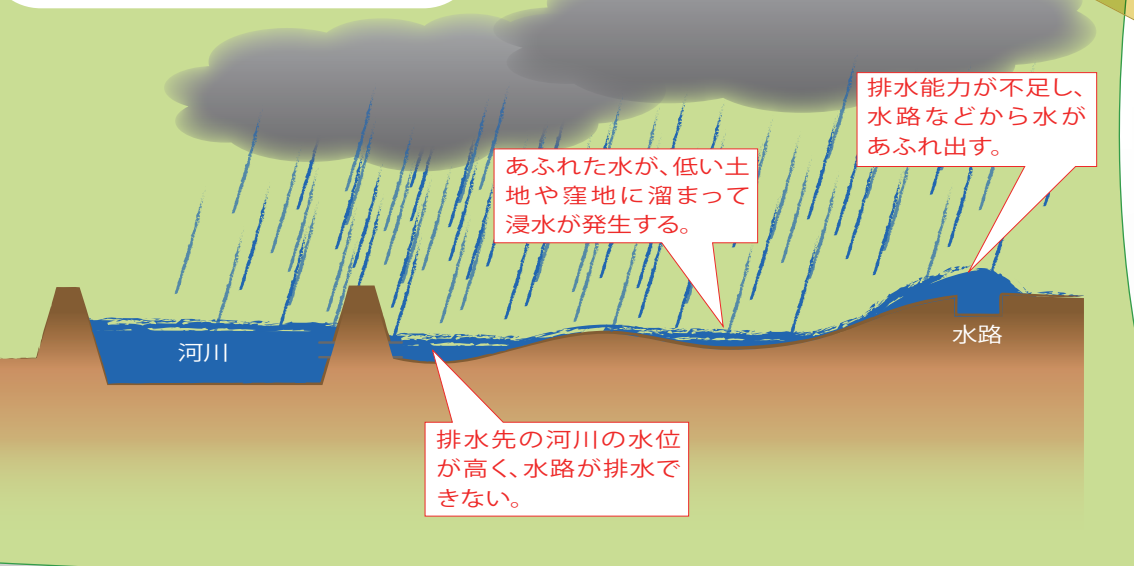
内水ハザードマップとは…

小浜市では、浸水被害を軽減するため、河川や水路の整備などを進めています。しかしながら近年では、『ゲリラ豪雨』と呼ばれる局地的な集中豪雨の増加により、水路や下水道などの排水能力を上回る水が流入したり、河川の水位が上昇し排水できなくなったりすることが原因で、「内水はん濫」と呼ばれる浸水が発生する恐れが高まっています。

このマップは、「内水はん濫」について、その区域と想定される水深を示したものです。また、「内水はん濫」の恐れがあるときに安全に避難するため、避難が必要な地域や避難所なども示しています。

みなさんが安全な避難行動をとるために、このマップを役立ててください。また、ご家庭や地域においても、日頃から水害に対する準備を行い、いざというときの避難所や避難方法などを、よく話し合っておきましょう。

内水はん濫とは…



避難所、災害時要配慮者利用施設について

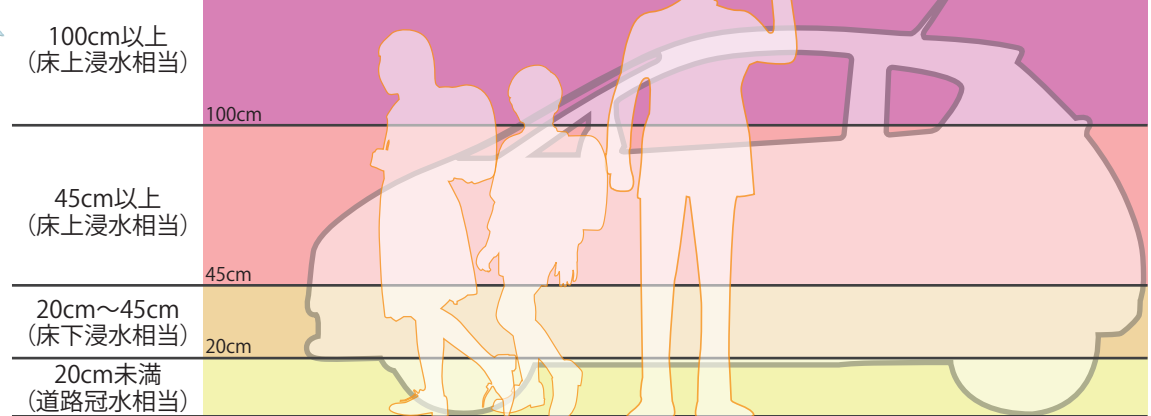
- 【指定避難所】**
公民館、学校など主に市の公共施設等を避難場所として市が指定した建物です。
- 【自主開設避難所】**
市の指定避難場所以外の市や県の施設のほか、民間の建物や地区集会所、神社等で近隣住民を随時的に受け入れる建物です。ただし、中には関係者が駐在していないところもあり、状況によっては受入に支障が出る場合もあります。
- 【一時避難所】**
市の指定避難所とは別に、災害時、地区や区の住民などから開設の要請があった場合に、開設を行う避難場所です。
- 【要配慮者利用施設】**
高齢者、身体の不自由な方、幼児等の災害時に配慮を要する方が利用する施設です。

- 凡例
- 警察署
 - 消防署
 - 病院
 - ヘリポート
 - ライフライン
 - 公的機関
 - 水防倉庫他
 - 河川
 - 公共下水道区域界
 - 鉄道
 - アンダーパス(地下施設)
 - 水位観測所
 - 河川監視カメラ

浸水深の目安

浸水想定について…

- 浸水想定はシミュレーションおよび浸水被害報告に基づき作成しています。
- シミュレーション範囲は、下水道計画区域内および排水先河川までの区域を対象としています。
- 水田は周辺地盤高と比較して低いため、結果的に浸水深が深くなります。



※公共下水道区域外はグレーで表示しています。→

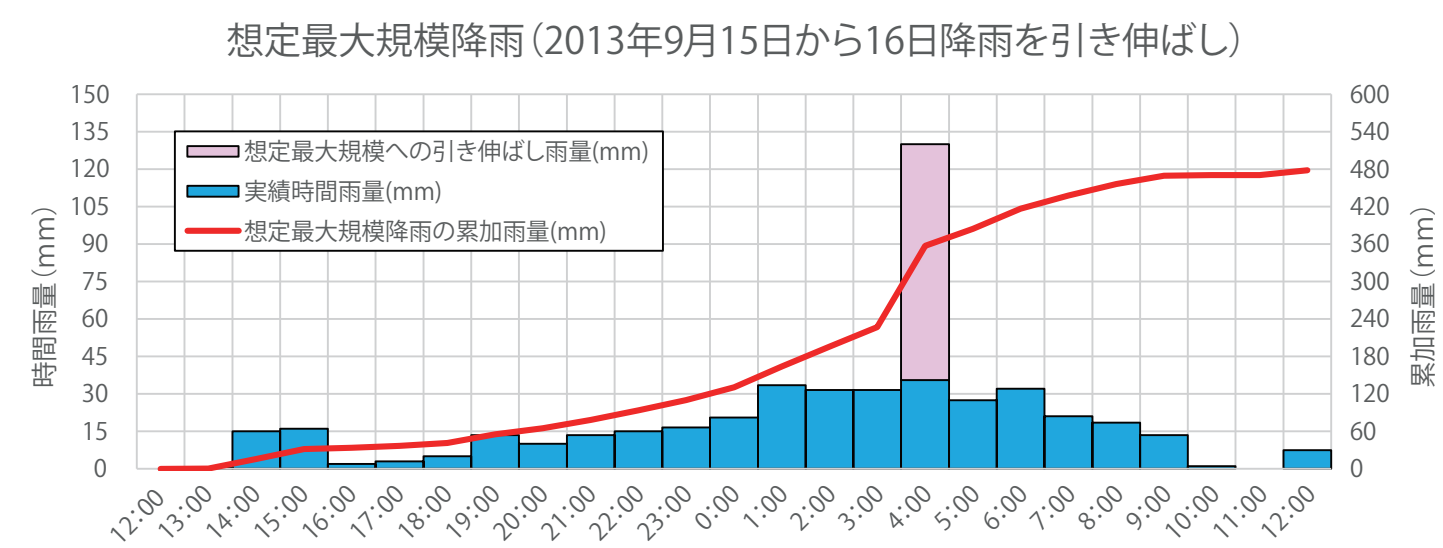
令和3年5月20日から「避難指示」で「必ず避難」。避難勧告は廃止になりました。令和3年5月20日付で、災害対策基本法の一部を改正する法律が施行され、「避難勧告」と「避難指示」は「避難指示」に一本化されました。今後は、大雨等で災害発生の恐れが高い状況で、警戒レベル4「避難指示」が発令された場合は、危険な場所から必ず避難して下さい。

高齢の方や障がいのある方、乳幼児のいるご家庭など、避難に時間がかかると思われる方は、警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたら避難行動を開始して下さい。

警戒レベル	避難情報等	住民がとるべき行動
レベル5	緊急安全確保	命の危険!直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに必ず避難>		
レベル4	避難指示	危険な場所から全員避難
レベル3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難
レベル2	大雨・洪水注意報	自らの避難行動を確認
レベル1	早期避難情報	災害への心構えを高める

対象降雨

この内水ハザードマップでは、小浜市で発生し得る最大規模として時間130mmの降雨*が発生した場合を対象降雨としました。ただし、同程度の雨が降った場合でも、河川や海の水位の状況や、それ以前の雨の降り方などによって、状況は変わります。



*「浸水想定(洪水、内水)の作成等のための想定最大外力の設定手法(平成27年7月)国土交通省 水管理・国土保全局」による。小浜市は、「@山陰地区」に該当し、想定最大規模の1時間雨量は130mm。
*近年最も浸水被害が発生した、2013年9月15日から16日降雨を対象に、降雨が一番大きかった時間を時間雨量130mmに引き伸ばして作成。
*このシミュレーションでは、海や河川が満杯であることを想定しています。

雨の降り方と災害発生状況の変化

降雨量	災害発生状況
10~20mm	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要
20~30mm	積層した水が、下水道の排水能力を上回り、小規模の浸水が発生する
30~50mm	山崩れやけずれの恐れがますます増え、危険な状況になる。下水管からの逆流も発生する
50~80mm	地下鉄や地下街に雨水が流入し、浸水する可能性がある。マンホールからは水が湧き出す
80mm~	大規模な浸水の発生する恐れが強く、避難が必要

小浜市において過去に降った雨で、大きなもの(時間雨量)の上位10位を下の表に整理しました。日頃から、雨の降り方や量に注意し、内水や洪水の発生の可能性・危険性について考えてみましょう。

■小浜観測所の過去45年間最大時間雨量の上位10位

順位	最大時間降水量(mm/hr)	日降水量(mm/day)	年/月/日
1	65.5	133	2018/8/24
2	57.0	111	1987/9/4
3	54.0	109	1988/8/24
4	53.0	77	2004/9/24
5	52.0	64	2016/7/7
6	51.0	104	1999/8/15
7	50.0	69	2004/9/14
8	50.0	71	1981/9/26
9	48.0	74	2018/9/4
10	47.0	66	2012/8/13

各種防災情報の入手先
気象庁



河川水位の入手先
国土交通省
川の防災情報



土砂災害危険個所の入手先
福井県
土砂災害
警戒区域等
管理システム



福井県
河川・砂防
総合情報



小浜市が公表している
各種ハザードマップ



小浜市が公表している
防災パンフレット

